令和7年度病害虫発生予察情報注意報第1号

令 和 7 年 7 月 25 日
広 島 県 農 林 水 産 局

7月下旬での極早生・早生品種及び早期栽培稲におけるすくい取り調査では、不稔被害を発生させるイネカメムシや加害力の高いアカスジカスミカメ、クモヘリカメムシの発生が多く確認されており、今後、出穂する早生品種、中生品種への被害の拡大が懸念される。

また、中国地方の向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されており(7月24日時点)、カメムシの増殖に好適である。また、今後高温により雑草の枯れあがりが進むことにより、斑点米カメムシ類の水田への飛び込みが増加すると予想される。ほ場内での多発生が確認されたら、速やかに追加の薬剤防除を行う。

【 作 物 名 】水稲

【 病害虫名 】斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、イネカメムシ、クモヘリカメムシ等)

1 適 用 地 域　県内全域

2 今後予想される発生量　多

3 根　　拠

(1) 極早生・早期品種及び早期栽培稲におけるすくい取り調査では、アカスジカスミカメ(写真1)などのカスミカメ類や、その他加害種の発生が多いほ場が見られる(表1)。要防除ほ場率は 52.9%で、過去の注意報発表年並の水準である(表2)。

(2) 南部地帯で加害力の高いイネカメムシ(写真2)、クモヘリカメムシ(写真3)の発生の多いほ場が見られ、今後の増殖により被害の発生が予想される。

(3) 中部地帯では、カスミカメムシ類、その他加害種の発生が多いほ場が見られ、今後の増殖により被害の発生が予想される。

(4) 北部地帯では、カスミカメムシ類の発生が多いほ場が見られ、被害の発生が予想される。

(5) 中国地方1か月予報では、気温は高く、降水量は平年並の見込みであるため、増殖に好適である。

4 防除上の注意事項

(1) 早生品種では、斑点米カメムシ類による吸汁被害(写真4および写真5)が集中するため、防除を徹底すること。

(2) 近年、被害が拡大しているイネカメムシについては、出穂前の水田に侵入し、不稔症状を発生させることが確認されている。多発地帯では出穂始めに防除する。

(3) 出穂期近くになっての畦畔などの除草は、カメムシ類を水田内に追い込むことになる。早生では除草を控える。中生では出穂2週間前までに除草を終える。

(4) 要防除水準:表3のとおり

(5) 斑点米カメムシの種類により、防除時期が異なる。以下の防除時期を参考にして、地域で発生の多いカメムシ種を対象に防除を行う。

(イネカメムシ)出穂始期とその 10 日後に2回。

(カスミカメ類)出穂期～その 10 日後に1～2回。

（その他加害種：ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシなど）出穂7日後～14 日後に1～2回。

(6)斑点米カメムシ類の調査方法については、「ひろしま病害虫情報」の「調査の方法」をご覧下さい。

(7)薬剤散布については、農薬使用基準(使用量、希釈倍数、使用時期、使用回数等)を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底すること。

(8) なお、最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報提供システム(https://pesticide.maff.go.jp/)」を参照する。

5 関連データ

表1 令和7年度 本田すくい取り調査(7月下旬)

地帯	区分	令和7年	過去3年平均
南部平均値	ｶｽﾐｶﾒ類	3.1	3.6
	その他加害種	12.1	8.0
中東部平均値	ｶｽﾐｶﾒ類	4.0	3.9
	その他加害種	2.7	1.1
中西部平均値	ｶｽﾐｶﾒ類	7.0	3.2
	その他加害種	1.4	2.4
北部平均値	ｶｽﾐｶﾒ類	26.0	5.4
	その他加害種	3.1	0.5
県全域平均値	ｶｽﾐｶﾒ類	10.1	3.1
	その他加害種	4.8	2.8

※その他加害種にはイネカメムシを含む。

表２ 要防除ほ場率の過去注意報年との比較（県内全域） （単位：頭／捕虫網 20 回すくい取り）

	令和7年	令和6年	平成23年	平成17年	平成16年	平成14年	平成13年
カスミカメムシ類	10.1	3．9	6．4	3．8	4．9	2．6	4．1
その他加害種	4.8	3．6	1．6	2．4	6．5	2．4	2．7
要防除ほ場率(%)	52.9	59．3	53．4	48．4	51．1	35．6	44．6

※平成23年以前の調査時期は8月上旬。

表3 本田乳熟期におけるカメムシ類の発生量と斑点米の関係

項目	着色粒混入率	要防除密度の目安	
		ｶｽﾐｶﾒﾑｼ類	その他加害種
２等以下への格下げ	0.1%以下	４頭以上	２頭以上

（注）20 回振りすくい取りによる１か所平均虫数

写真１　アカスジカスミカメ
（体長　5～6㎜）

写真２　イネカメムシ
（体長　12～13㎜）

写真３　クモヘリカメムシ
（体長　15～17㎜）

写真４　イネカメムシによる基部被害粒

写真５　上段：ｶｽﾐｶﾒﾑｼ類による被害粒（黒蝕米）
下段：ﾎｿﾊﾘｶﾒﾑｼ等その他加害種による
被害粒（標準的斑点米）

この情報は、広島県公式ホームページ「ひろしま病害虫情報」に掲載しています。

掲載アドレス（https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/）

【お問い合わせ先】

○ 農業技術課（082-513-3559）

○ 西部農業技術指導所（082-420-9662）

○ 県立総合技術研究所農業技術センター（082-429-0521（代表））